

園内研修の質を高める

～一人一人に寄り添った保育をめざして～

幼保連携型認定こども園
あさひかわこども園

研修・研究のこれまで



からだづくり

生きる力の基礎

こころづくり

考える力づくり

エピソード記録を使った研修



エピソード記録を使った研修

エピソードから
子どもの姿や遊びの様子、保育者の援助を捉える

子どもの内面、育ち、保育者の願いを読み取る

自分だったらどのように関わるかを考え、保育へ

<成果>

- 子どもの内面や育ちを多面的に捉えることができる。
- 様々な保育観に触れ、援助や環境構成を学ぶことができる。

<課題>

- 子どもの姿をエピソード化するのが難しい。
- エピソードを書きためる習慣
⇒写真を使ってみては？
- シフト制になり、全員で集まることが厳しい。
⇒学年単位で行うのは？

写真を使った研修

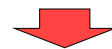
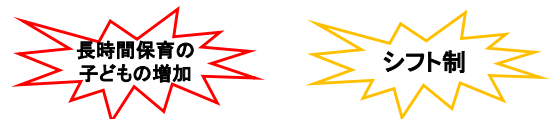


<成果>

- 目の前の子どもの姿・育ちを捉え、より具体的な援助を考えることができる。
- 学年の保育の方向性や子どもの育ちに必要な関わりについて共有できる。

<成果>

- 長時間保育の子ども増加の姿・育ちを捉え、より具体的な援助を考えることができる。
 - 学年の保育の方向性や子どもの育ちに必要な関わりについて共有できる。
- シフト制**



同学年の保育者間で
必要な情報共有ができない！！

テーマを各学年に任せた研修 「保育の語り合い」



子どもの姿や育ちを踏まえ、どのような環境で保育をしていくのか

具体的な援助を考え、共有

写真を使い、子どもの育ちを捉える

さらに育ちへとつなげるための援助を考える

☆学年・他学年の保育で大切にしていることや課題などが一目で分かる。
☆年齢による育ちの違いやめざしている姿が分かる。

<課題>

- 子どもの様子や保育の実態を共有できない。
- 他の保育者から学び、自身の保育力につながる研修にならない。

⇒公開保育を取り入れてみては？

ASECEの実施



STEP1 事前研修

★1年間の振り返りを通して、保育で大事にしたことや子どもの育ち・課題面を捉え、来年度への保育につなげる。

よき・育ち
大事にしてきたこと

課題
困っていること

課題の原因は？

こうなってほしいなあ

<子どものよき・育ち・保育で大事にしてきたこと> <ul style="list-style-type: none">子どもらしく元気な姿友達に優しい素直みんなで一緒に楽しむ姿(子どもも保育者も)考えを出しながら遊ぶ姿が見られるようになってきた。やってみようとする意欲につながるように一人一人に寄り添いながら保育者間で連携してきた。	<「こうなってほしいなあ」という願いや希望> <ul style="list-style-type: none">好きなことをのびのびと！何事も経験！という気持ちで挑戦してほしい。いろいろなことに興味をもって遊んでほしい。友達とのつながりを深めてほしい。空気を読み過ぎない！！自分に自信を持てほしい。ありのままの自分を受け止めながら過ごしてほしい。
<課題・困っていること> <ul style="list-style-type: none">友達を気にしすぎてしまう。じっくり遊び込む姿があまり見られない。心配性・気の弱さ興味や関心をあまり広げられていない。	<課題の要因は？> <ul style="list-style-type: none">保育者ももっと主体的に遊び込み、ダイナミックに遊ぶ。子どもの内面を十分に読み取る。子どもを認める言葉かけを十分にしている。情報が多いが実体験が少ない...心のゆとりを持って保育を

STEP2 子どもの姿を捉える

★新年度を迎えた子どものよきや課題を捉え、保育者間で保育の方向性を共有し、保育力の向上や同僚性を深めることにつなげる。

よき・育ち

新しい課題

願いの実現に向かっていくか

課題に対してどのように保育していくのか

<新たな課題>

遊び

関わり

生活面

「これだ！！」と夢中になれるものがまだ...
遊びのアイディアの乏しさ...
じっくり遊び込めない子どもが多い...

新しい友達関係、いいところもあれば...
友達が好きなのは分かるが関わり方が...

自分自身で決めたり、判断力が弱かったりする子どもが目立つ
自分で考えずに何でも大げさに聞く
個人差の幅が大きい

遊びの時間を保障する。
遊び方や楽しさを保育教諭が関わったり、つくり方を準備して知らせたりする。
継続して遊ぶことのできる言葉かけをする。

友達のよさを伝えるように保育者も子どものよさを言葉にして認める。
リーダーシップをとれる存在を見出していく。

話し合ったり、自分で考えたりする機会を多く設ける。
時間をかけて信頼関係を気づく。

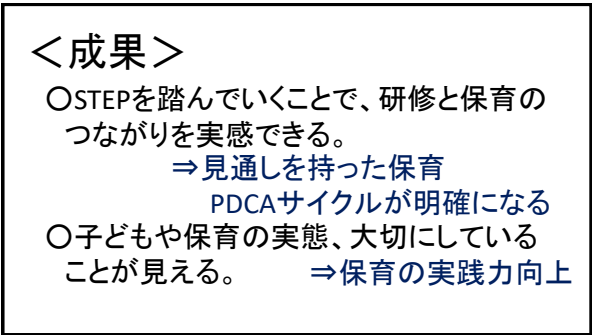
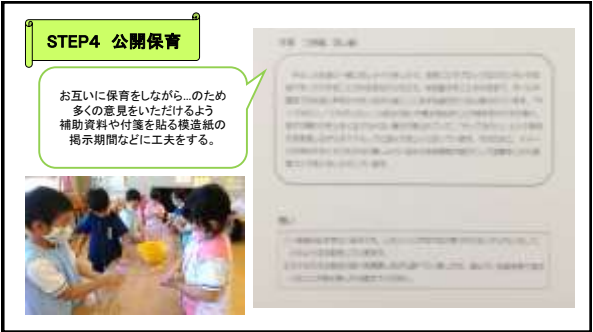
友達と一緒に
しっとりと...

じっくり遊び込めていない...

STEP3 問いづくり

☆遊びに焦点を絞り、子どもたちの課題や必要な援助・環境構成を捉え直していく。

公開保育の資料作成の(参観者に分かりやすく伝える)ために保育者同士の話し合いやキーワードを模造紙にまとめる。



<課題>

OSTEP4から他学年の保育者が参加するため、これまでの経緯や保育者の思い、子どもの様子についての理解度が低い。

深い協議が
できない

学年を超えた連携
十分にできない

気付き

○何をねらって研修するのかを明確化し、「ねらい」を意識して参加する。

○これまでどのように研修や保育が行われていたのか学ぶ意識を持って臨む。

泥んこプール



ブロックを思いきり
ザザ————と流して
温泉ごっこ

片付け方を工夫しながらも
困り感に気付き...



へんてこもり温泉づくり



これまでアイデアを出すだけで
遊びに加わらなかったRちゃんも
自分から遊びに加わって...

「埋めて！」「かけるよ」「まだ足が見えてるよ」など思いを言葉にして新聞のお湯をかけ合ったり...



「花火があがるよ！」「私、お姉ちゃんでもいい？」などイメージを言葉にして共有したり...



今後の研修のあり方



○時間や参加人数が限られている中、一人一人が参画意識をしっかりと持って研修を行うために、どのような工夫が必要か。



○研修に参加できない保育者がいる場合、どのように伝達・情報共有を行えばよいか。



ありがとうございました



【イラスト・カット】
たかどの ほうこ／いへんてこもりシリーズ（徳成社）